

東京音楽大学 音楽文化教育専攻

# TOM

---

Introduction

2020年、「音楽教育専攻」が「音楽文化教育専攻」として、生まれ変わります。

多様化した現代社会において、音楽教育に求められる役割も変化しています。

本専攻が目指すのは、そんな社会の変化に対応した、新たな音楽教育の可能性を切り拓くこと。これまでの音楽大学にはない、新しい学びが皆さんを待っています。

---

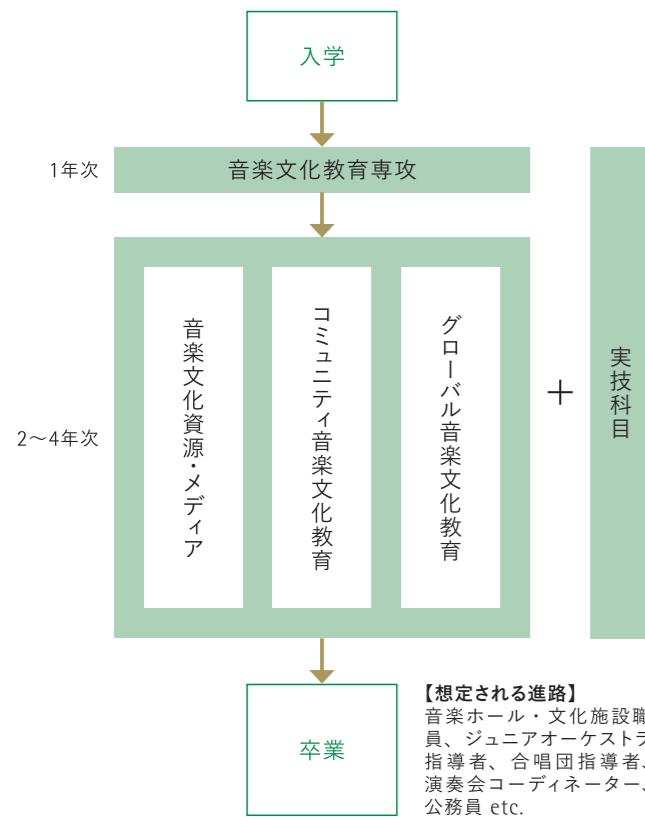
音楽の新たな  
可能性を探す4年間

音楽をたずさえて  
実社会へ

# Q 音楽文化教育専攻 では何が学べるの？

A 興味に応じて **多様な学び** が可能です。

## 1 4年間の学びのイメージ



音楽文化教育専攻は1コース制。1年次は必修科目をとおして、全員が音楽文化の基礎を学びます。2年次以降は、「音楽文化資源・メディア」「コミュニティ音楽文化教育」「グローバル音楽文化教育」の3つの領域から、興味に応じて授業を選択し、地域性と国際性の両面から音楽文化について学びます。さらに、4年間をとおして実技科目も受講。知識と技術を身につけ、さまざまな形で文化の発展に貢献できる力を養います。

## 2 3つの学問領域から自由に選べる

### ▶ 音楽文化資源・メディア

メディア論や文化資源論などの観点から、「芸術作品」とどまらない「文化資源」としての音楽の役割を学びます。音楽の伝承や保存に関わるメカニズムや、メディアが音楽に与える作用などを講義とゼミ形式で学習。現代社会における、音楽の可能性を考えます。

### ▶ コミュニティ音楽文化教育

地域コミュニティにおける、音楽の活用法について学びます。高齢化や過疎化が進む地域において、音楽をどのように文化発展に役立てるのか。音楽を地域の文化資源として生かす方法を学び、多様な文化が共存するコミュニティで音楽活動のコーディネーターとして活躍できる力を養います。

### ▶ グローバル音楽文化教育

グローバル社会における音楽の役割を考える学問領域です。ユネスコの活動などについても学び、世界の音楽文化教育に関わる活動、移民教育や国際平和といった国際問題解決のツールとして音楽を生かす方法を考えます。海外の大学への留学プログラムを受講し、国際感覚を身につけることも可能です。



## 3 実技科目も3ジャンルから選べる

### ▶ 音楽文化教育実技

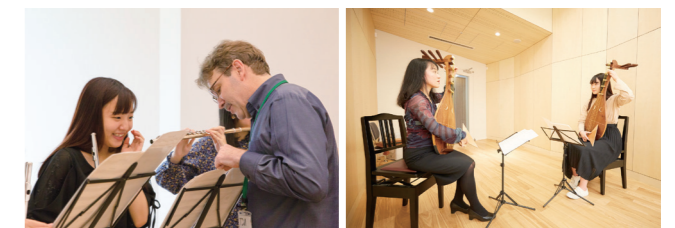
知識だけでなく、実技も専門的に学びたいという人におすすめなのが、「音楽文化教育実技」。ピアノや声楽、弦管打楽器、作曲などを、第一線で活躍する演奏家・指導者から学びます。レッスンは一人ひとりの希望や習熟度に合わせて個別で展開されるため、さまざまなレベルに対応が可能です。

### ▶ グローバル音楽表現

幅広いジャンルのレッスンを受講できるのが、「グローバル音楽表現」。電子オルガン、邦楽、民族楽器、ポピュラー、ジャズなど、従来の音楽大学では専門的に学ぶ機会が少なかった楽器にもチャレンジできます。個人レッスンのため、入学後に新たな楽器に挑戦したいという方にもおすすめです。

### ▶ ミュージックパフォーマンス

小アンサンブルや身体表現といった、クラス単位での実技授業を行います。具体的には受講者によるミュージカルの上演や、プロジェクションマッピングを使ったダンスパフォーマンスなどを予定。これまで東京音楽大学で行われてこなかった、新しい実技授業を展開していきます。



## Curriculum

### 音楽文化教育専攻 カリキュラム

1年次は必修科目で基礎を中心に、2年次以降は3つの学問領域を学習します。実技科目は4年間とおして自由に選択。興味に応じて学べる、自由度の高いカリキュラムが魅力です。

	1年次	2年次	3年次	4年次
必修科目	専攻科目	音楽文化教育入門 メディアリテラシー(情報)	音楽文化教育の最前線・II(仮)	音楽文化教育ゼミナール 卒業課題(論文・実習報告書・制作・研究表現)
	専門基礎科目	合唱 ソルフェージュ 音楽理論(和声)		
選択必修科目	音楽文化資源・メディア		音楽文化資源論 音楽メディア史研究 音楽文化資源・メディア特講	
	コミュニティ音楽文化教育		コミュニティ音楽文化論 コミュニティミュージック・セラピー コミュニティ音楽文化教育プロジェクト	
	グローバル音楽文化教育		グローバル教育学入門 グローバル音楽文化史 グローバル音楽文化教育プラクティカム	
	ゼミナール			音楽文化資源・メディア論ゼミナール コミュニティ音楽文化教育ゼミナール グローバル音楽文化教育ゼミナール

#### 【選択科目】

- 専攻科目(履修条件・制限あり): インターンシップ実習、留学等単位認定、音楽文化教育実技(ピアノ、声楽、管弦打)、グローバル音楽表現(第2副科相当個人レッスン)、ミュージックパフォーマンス(クラス授業実技)
- 専門共通科目 ●音楽学課程 ●選択教養・外国語
- ※グローバル音楽表現は個人レッスン、ミュージックパフォーマンスはグループレッスン
- カリキュラムの詳細はホームページをご覧ください。

※2019年6月時点の情報です。今後変わる可能性があります。

## 学びをサポートする制度も充実

### カリキュラム作成の味方!

#### アドヴァイザー制度

目標に応じた授業を履修できるように、アドヴァイザーがカリキュラム作成をサポート。面談をとおして本人の希望や成績に合う授業を提案し、自分だけのオリジナルカリキュラム作りを手助けします。

### 少人数制による

#### きめこまやかな授業

1学年20人の定員に対して、専任教員は3人という少人数制が特長。教員が学生一人ひとりの興味や適性を把握し、授業を展開していきます。修士課程、博士後期課程も含めると最大9年間、同じ教員のもとで学べます。

### 実践力を身につける

#### インターンシップ

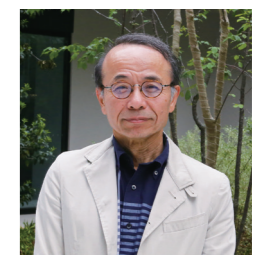
3・4年次の選択科目として、インターンシップ実習を用意。音楽ホールなどの文化施設での実習をとおして、実社会で求められる力や音楽の活用法を学び、卒業後の進路選択に役立てます。

## 専任教員からのメッセージ

### 「変化し続ける社会に応じた、音楽教育を目指して」

#### 渡辺 裕 教授

外国人観光客の急増や少子高齢化、地方の過疎化など、私たちが取り巻く環境は、大きく変化しています。音楽教育の出番も多様化し、さまざまな現場で状況を的確にとらえ、それに見合う形で文化をデザインする力が求められています。メディア論や文化資源論などの新しい考え方をもとに、この荒海に乗り出す新しい挑戦に参加してくれる仲間を募っています。



## 入学試験情報

日程	方式	試験内容
9月	AO 入試	1次試験 【書類審査】(1)音楽学習履歴調書 (2)志望理由書  2次試験 【英語学力調書】【小論文】 【口述試問】 任意の音楽実技の演奏5分程度を含む。鍵盤楽器以外の実技を選択した場合は「基礎ピアノ※」を課す。
11月	推薦入試	【小論文】 【口述試問】 任意の音楽実技の演奏5分程度を含む。鍵盤楽器以外の実技を選択した場合は「基礎ピアノ※」を課す。
2月	一般入試	1.【英語】 以下からひとつ選択 (1)(独)大学入試センターが実施する外国語試験 (2)本学が行う試験 (3)資格試験…実用英語技能検定試験準2級以上、IELTS(Academic) 4.5以上、TEAP(Reading/Listening) 100以上、TOEFL iBT® 50以上、TOEIC® L&R400点以上(公開テストのみ。IPテストは対象外) 2.【音楽基礎】 高等学校芸術科「音楽I」の教科書の内容相当の音楽能力の考査(楽典、聴き取り、読譜、視唱を含む) 3.【小論文】 当日出題する課題について800字程度で論じる。(60分) 4.【口述試問】 任意の音楽実技を含む。鍵盤楽器以外の実技を選択した場合は「基礎ピアノ※」を課す。

※自由曲1曲。レベル、ジャンルは問わない。教科書掲載の歌唱教材の伴奏等も可。

●入試の詳細については、当該年度の入学試験要項で必ず最終的な確認をしてください。



FAQ

### Q1 高校まで音楽を専門的に勉強していませんが、大丈夫ですか？

大丈夫です。音楽文化教育専攻は幼少から音楽の訓練を受けていなくても、音楽文化に関心があり、高校までの音楽の授業や課外活動をとおして身につけた知識や技術があれば十分です。理学部や文学部を選ぶのと同じように、専攻分野の選択肢のひとつと考えて、受験してください。

### Q2 実技はどのくらいのレベルが求められますか？

自分が得意とする、自身を最も表現できる実技をひとつ選んでください。曲目は5分程度であれば自由です。鍵盤楽器以外の実技を選んだ場合にはほかにピアノ実技も課しますが、高校の教科書掲載の歌唱教材の伴奏が弾ける程度のレベルであれば大丈夫です。

### Q3 従来の応用音楽教育コース、実技専修コースは残りますか？

従来の応用音楽教育コースと実技専修コースは統合し、1本化されます。しかし各コースの特徴は、新しいカリキュラムのなかにより発展した形で残ります。たとえば、ひとつの実技を本格的に学びたい学生は専門性の高い個人レッスンを行う実技科目を選択して、4年間履修することができます。

### Q4 主な就職先は？

音楽関連企業、行政や一般企業の文化事業担当部署、ホールなどの文化施設やオーケストラ事務局などの芸術団体、中学校・高校の音楽科の教員などが挙げられます。また、フリーランスではジュニアオーケストラや合唱団の指導者、福祉施設などでの音楽活動の実践者などが挙げられます。

### Q5 将来、教員になろうか、どうか迷っています。

教員を目指す人、教員以外の将来像も持っている人、そしてもちろん決めている人にも対応する幅広いカリキュラムが特長です。全専攻対象の教職課程を履修すれば中学校・高校の音楽科の教員免許が取得できるほか、本専攻独自の授業科目で部活などの課外活動や、学校外の地域の活動の指導者として役立つスキルや知識を学べます。

#### Information

中目黒・代官山キャンパス (学校法人本部)  
〒153-8622 東京都目黒区上目黒 1-9-1  
Tel. 03-6455-2700 Fax. 03-6455-2770

池袋キャンパス  
〒171-8540 東京都豊島区南池袋 3-4-5  
Tel. 03-3982-3186 Fax. 03-3982-3183

最新情報は  
WEBで⇨  
<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/>

